



【先週 3月21日～3月27日の外食の出来事】

■2月の外食売上高、22・3%減 緊急事態宣言の延長、時短響く

日本フードサービス協会が25日発表した2月の外食売上高(全店ベース)は前年同月比22・3%減と2カ月連続で減少率が2割を超えた。新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の延長が響いた。

■銚子丸、第3四半期(2020年5月16日～2021年1月15日)の業績 減収増益

2021年5月期 第3四半期の業績は売上高135億100万円(対前年同期比8.8%減)、経常利益6億7700万円(同33.4%増)、四半期純利益3億3800万円(同20.7%増)と減収も増益を確保した。

■スシロー、借入350億+コミットメント200億

株式会社スシローグローバルホールディングスが、350億円の借入と、組成金額200億円のコミットメントライン契約を締結。借入は、みずほ銀行、三井住友銀行、三菱UFJ銀行、日本政策投資銀行の4行が引き受けた。

■英国風パブ運営のハブ、ミクシイが筆頭株主に

英国風パブを運営するハブは、ミクシイが筆頭株主になる。ミクシイが約10億円の第三者割当増資を引き受け、集客でも連携する。新型コロナウイルスによる外出自粛で業績が悪化しており、支援を通じて財務基盤を固める。

■幸楽苑、コミットメントライン契約を増額 既存店売上は足踏み

幸楽苑が、みずほ銀行をエージェントとする金融機関とコミットメントライン契約の新規締結および既存契約の延長を決めた。2021年度第3Qで最終赤字10億46百万円。既存店売上高は2月も76.1%となかなか戻らない。

■ハイデ日高、30億円弱の営業赤字 21年2月期

ラーメン店「日高屋」を運営するハイデ日高の2021年2月期の単独営業損益が30億円弱の赤字に。年間の営業赤字は初めて。首都圏1都3県で新型コロナウイルスの流行が再び広がって客足が落ち込んだ。

■シャノアールと珈琲館、4月1日に合併

「カフェ・ベローチェ」を運営する喫茶店チェーンのシャノアールと同業の珈琲館は25日、4月1日付で合併すると発表した。両社は投資ファンドのロングリーチグループ傘下に入っており、合併で経営の効率化を図る。

■モンテローザ、「魚民」&「からあげの鉄人」併設が259店舗に

株式会社モンテローザでは、唐揚げ専門店「からあげの鉄人」をバーチャルレストランとして居酒屋「魚民」に併設した店舗が259件にまで拡大した。現在、「魚民」は541店舗あり、約5割が併設店舗となる。

■丸千代山岡家、2021年1月期(2020年2月～2021年1月)の業績 増収減益

2021年1月期 通期の業績を発表。売上高142億6500万円(対前年同期比1.1%増)、営業利益3億2200万円(同47.2%減)、経常利益3億7400万円(同43.5%減)、当期純利益1億4100万円(同48.8%減)であった。